

第6学年 国語科学習指導案

日 時 令和7年12月19日（金）第5校時
13:30～14:15

対 象 第6学年1組 32名

学校名 墨田区立第一寺島小学校

授業者 笹目 真理

会 場 3階 家庭科室

令和7年度 研究主題 学びを深める児童の育成 ～自分の思いや考えを伝え合う活動の充実を通して～

1 単元名 重ね読み解く命

～これからの生き方について考えたことを「未来へ ～私の約束ノート～」にまとめ
お家の人に発信しよう！～

教材名 『海の命』（光村図書 6年）

並行読書教材 『山のいのち』 立松和平 文 伊勢英子 絵

『木のいのち』 『牧場のいのち』 立松和平 文 山中桃子 絵

『川のいのち』 『田んぼのいのち』『街のいのち』 立松和平 文 横松桃子 絵

2 単元の目標

- ・作品中の結び付きの強い語句同士が相互に関連し合い、文章の内容を特徴付けていることに気付くことができる。 [知識及び技能] (1) オ

◎『海の命』（命シリーズ）を読んで理解したことに基づいて「命」や「これからの生き方」について自分の考えをまとめることができる。 [思考力、判断力、表現力等] C (1) オ

- ・『海の命』（命シリーズ）を読んで、読書座談会を通して意見や感想の違いを明らかにしたり、互いの意見や感想のよさを認め合ったりすることができる。 [思考力、判断力、表現力等] C (1) カ

- ・進んで「命」について考えさせられる作品を何度も読み、言葉がもつよさに気付くとともに、「命」に対する自分の疑問を解き明かすために、考えを伝え合おうとすることができる。

「学びに向かう力、人間性等」

3 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
作品中の結び付きの強い語句同士が相互に関連し合い、文章の内容を特徴付けていることに気付くことができる。 ((1) オ)	◎『海の命』（命シリーズ）を読んで理解したことに基づいて「命」や「これからの生き方」について自分の考えをまとめている。((1) オ) 『海の命』（命シリーズ）を読んで、読書座談会を通して意見や感想の違いを明らかにしたり、互いの意見や感想のよさを認め合ったりしている。((1) カ)	進んで「命」について考えさせられる作品を何度も読み、言葉がもつよさに気付くとともに、「命」に対する自分の疑問を解き明かすために、考えを伝え合おうとしている。

4 児童の実態

- 『帰り道』の学習では、全文シートを使い、気になるところを中心に交流活動を繰り返し行った。対話の相手や目的など自分で考えるなど意図をもって対話をする中で、自分の考えや思いをもったり、明確にしたりすることができる児童が増えてきた。しかし、自分の考えと相手の考えを比較しながら自分の考えをまとめたり考え直したりすることが苦手な児童もいた。対話で広がったり深まったりした考えを書いて表出することに課題が残った。
- 言語活動では、本の魅力を推薦するという言語活動を行うために交流を活かした学習のまとめを行ってきた。タブレットを活用した作成には慣れているが、個人の作業に時間が必要となってしまうという課題があった。子供たちが成果物を作成するために、交流が必然となるような学習展開の工夫が必要である。
- 『やまなし』の学習では、導入時に読書座談会の様子を動画で見せたことにより、学習の見通しをもって話し合いを進めることができた。また、全文シートを用いることで大まかに話の大体を叙述と結び付けながら考えることができた。しかし、解き明かしたい疑問について自分の考えを述べる際に、複数の叙述を結び付けながら考えを明確にすることが難しかった。また、話し合っている疑問が話題からそれてしまうグループもあり課題として残った。

5 教材について

本教材『海の命』は、海で生きる「太一」がさまざまな人物の影響を受けて成長する姿を通して、生きることや自然のかかわり方を考えさせてくれる物語である。大切な人の死や葛藤を乗り越え自分の生き方を確立する「太一」の姿、「海のめぐみだからなあ。」という「父」の言葉「千匹に一匹でいいんだ。」という「与吉じいさん」の言葉など、自然と共に生きる人間の魅力や自然に対する畏敬の念が表現されている。

本教材の解釈や生き方についての様々な他者の見解に出会い、考えを交流することを通して、いっそう自分の考えを広げ、深めるようにしていく。あと3ヶ月後に卒業を迎える児童にとって、家族との関係、尊敬できる人物との出会い、自分の考えを大きく揺さぶる人との出会い、大きく揺さぶる出来事との出会いや葛藤など、登場人物に人物を重ね、様々な考えや思いをもつことのできる作品である。自分を支える人物を再確認し、他者との関係を見つめ直し、自分の生き方を見つめ直すことにもつながり、作品の魅力を十分に味わうことができる。

並行読書教材では、同じ作者（立松和平）の命シリーズの本を取り扱う。命シリーズの作品には、題材を強く意識させる表現が多くあり、作品のメッセージを主体的かつ多面的に考えることができる。また、心情描写より情景描写が多く、全体を通して抽象度の高い表現の多い作品群であると言える。児童は自然と自らの生活体験や生き方・考え方などを照らし合わせて読み、登場人物それぞれの生き方について考えを深めることができる教材である。

6 研究主題との関連

(1) 目指す児童像

低学年	中学年	高学年
言葉がもつよさを感じるとともに、楽しんで読書をし、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとする子	言葉がもつよさに気付くとともに、幅広く読書をし、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとする子	言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語の大切さを自覚して、思いや考えを伝え合おうとする子

(2) 研究主題に迫るための手だて

①言語活動の工夫

ア 言語活動

命シリーズに関連する作品を読み、一人一人が抱いた疑問や引っ掛かりなど、解き明かしたい疑問についてみんなで解決するために読書座談会を行う。そして、命やこれからの生き方について考えたことを「未来へ ～私の約束ノート～」にまとめる。

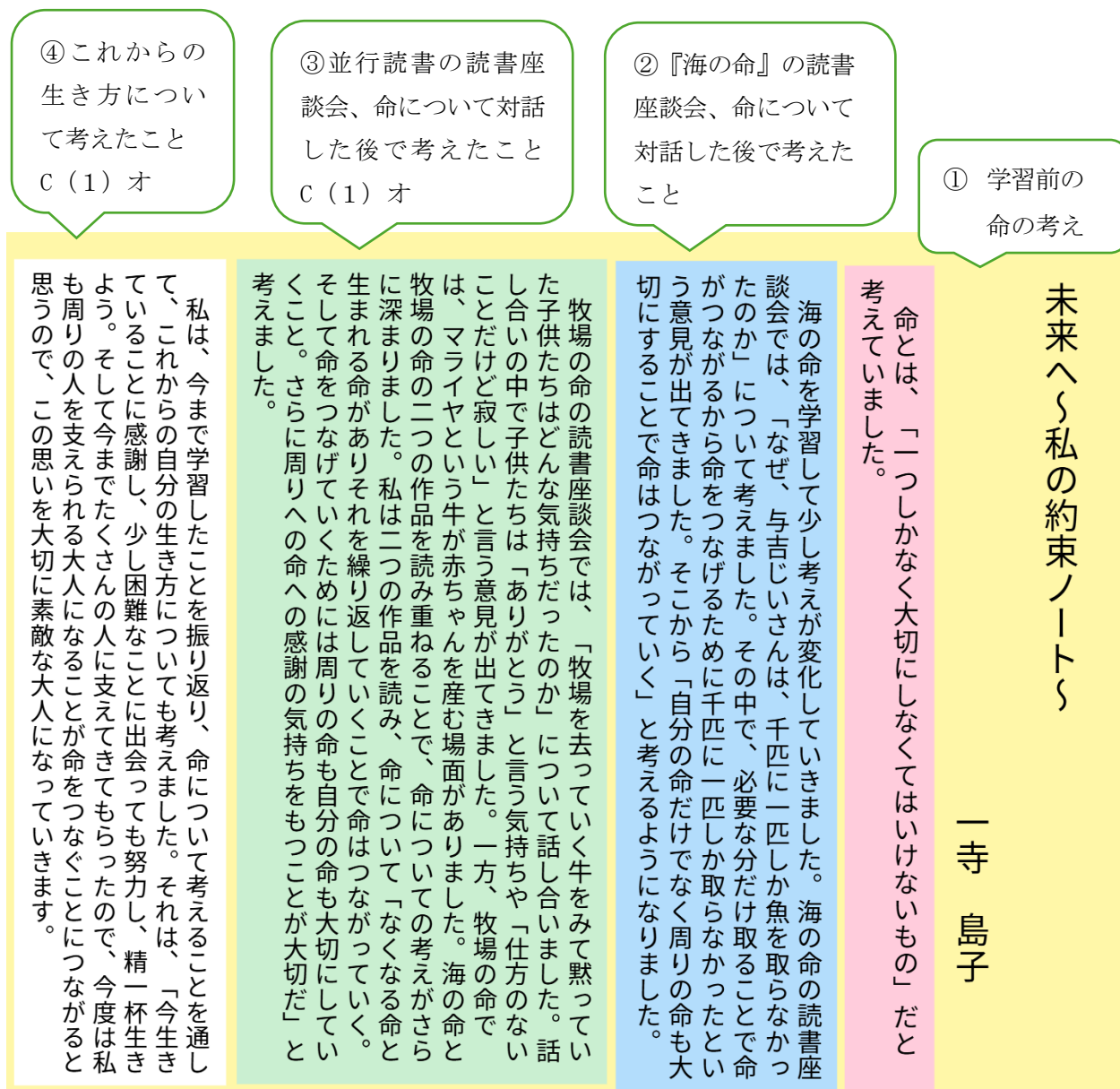
イ 言語活動の特徴

本教材は、『海の命』は、小学校指導要領解説国語編の読むことの「文章を読んで理解したことに基づいて自分の考えをまとめること」を実現するために、これからの生き方について考えたこと「未来へ～私の約束ノート」にまとめ、お家の人へ発信するという言語活動を設定した。

「未来へ～私の約束ノート」には、以下の4点でまとめることとした。

- ① 学習前の命についての考え
- ② 『海の命』の読書座談会後に、「命」について考えたこと
- ③ 並行読書材の読書座談会後に、「命」について考えたこと
- ④ これからの生き方について考えたこと

段階を踏んで物語の世界と結び付けたことを読書座談会後で、友達と話したり、相談したりする中で「これからの自分の生き方」を多面的に考えることができると考えた。M また、3ヶ月後に卒業する子供たちにとって「命」や「これからどう生きたいか」を考えることは今の自分に向き合うために価値のあることだと感じている。単元のゴールには、保護者の方に「未来へ～私の約束ノート」で発信する場を設けることで、より主体的に学習に取り組めると考える。



②交流活動の工夫

ア 相手と目的を意識した交流活動の設定

本単元では、読むことの指導事項（１）オとカを達成するために、読書座談会を交流活動とし、「ミニ座談会」と「座談会」の２つを位置付けている。「ミニ座談会」で一人一人の話題しいことを取り上げる。また、話し合いが深まりそうな話題と、すぐに解決してしまう話題に整理しておく。「座談会」では、ミニ座談会から出た話題にしたことを基に、作品の疑問を解き明かしていく。また、複数の叙述を結び付けたり、叙述に根拠をもとめたりしながら話し合うことで、目的を意識して読書座談会を行えると考えた。また、教師が意図的に決めた相手ではなく、同じ並行読書材を選んだ人同士がグループになり、解き明かしたい疑問を叙述と結び付けながら話し合うことで、命についての考えを共有し自分の考えを広げていけると考える。

イ 交流の進め方をつかむためのモデル動画の作成

モデル動画を作成し具体的な座談会の仕方を示す。

- ・子供たちがどのような話し合いをすれば、当該単元で育てたい資質・能力を発揮した話し合いになるのか、指導事項と関連させる。
- ・どのような手順で話し合いを進めるのか、持ち物や席の座り方、返答の仕方などを具体的に示す。
- ・話し合っているときの、全文シートの使い方、線の引き方など、複数の叙述を比較したり、複数の作品を参考にしたりして考えを明確にする手順を示した。

交流の留意点を、モデル動画という形で説明していく。座談会の進め方を知ることで、作品の疑問を解き明かし、学びを確かなものにしていく。

ウ 主体的に話し合いに参加するために

児童が主体的に参加するために、もっとも「疑問を解き明かしたい作品」を一人一人選び、同じ作品を選んだ友達同士で読書座談会を行う。解き明かしていくことで、主体的に話し合いに参加できるようにしていく。また、話し合ったことを基に「命」や「これからの生き方」について、自分の考えをはっきりさせることで、主体的な学びにもつなげていけると考える。

【読書座談会の予想される児童の様子】



「海の命」を読んで、まわりの命を大切にするからこそ、命がつながっていくと思ったよ。

どこからそう思ったの？



ほら、ここ叙述を指で示しながらなぜ与吉じいさは「千匹に一匹きでいいんだ。千匹いるうち一匹きをつれば、この海でずっと生きていけるよ。」って言うてるでしょ。それは、千匹に一匹しか取らないからそうすることで命がつながっていたんだね。

そうかあ。私も同じことを考えたよ。ここともつながるんじゃない？ (叙述を指で示しながら)「千匹に一匹しかとらないのだから、海の命は全く変わらない。」って書いてあるでしょ。与吉じいさは、海の命が変わらず漁師が漁を続けるために無駄に魚をとらなくていいんだということを伝えたかったんじゃないかな？



たしかに。もしかしたら、立松さんは、命の大切さを表現したかったのかな？「田んぼのいのち」を読んだときに、「米づくりは小さな命をふやすことです。」というように命について表現していたよ。「牧場のいのち」でも「太古の海と、羊水と、乳と、どれもが同じ私たちの命のもとです。」と言っていたよ。(他の作品の全文シートを見ながら)

7 単元の指導計画と評価計画（9時間扱い）

次	時	学習活動	学習活動に即した具体的な評価規準
第0次	1	<p>『海の命』</p> <p>「未来へ～私の約束ノート～」に今自分が考える「命とは」を書きまとめるという目当てをつかむとともに、そのための読書座談会のやり方をつかみ、命シリーズで気になった本を選ぼう。</p> <p>・命シリーズで気になった本を選び、読書する。</p>	
第一次	2	<p>「命とは？」について考えたことを書き出し、「未来へ～私の約束ノート～」の1ページ目に書こう。</p> <p>・学習したことを進めるたびに考えがどう変化していくか可視化できるように、今まで学習してきた物語文や他教科での学習をふり返り、「命」について考えたことを書く。</p>	<p>【主体的に取り組む態度】</p> <p>進んで「命」について考えさせられる作品を何度も読み、言葉がもつよさに気付くとともに、「命」に対する自分の疑問を解き明かすために、考えを伝え合おうとしている。 （ロイロノート・発言）</p>
	3	<p>『海の命』</p> <p>海の命を読み、話題にしたいところを見付けよう。</p> <p>・学習計画を立てる。 ・『海の命』を読み、解き明かしたい疑問や引っ掛かりを見付ける。 ・全文シートを用意し、読書座談会で話す疑問の答えになるような叙述に線を引いたりメモをしたりする。</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>作品中の結び付きの強い語句同士が相互に関連し合い、文章の内容を特徴付けていることに気付くことができる。 （ロイロノート・発言）</p>
	4	<p>『海の命』</p> <p>ミニ座談会で、話題にしたい内容をグループで考えよう。</p> <p>・グループで一人一人の解き明かしたい疑問を出し合い、読書座談会で話し合う話題を決める。 ・少し話し合っただけでは、答えがみつからないような内容を「読書座談会」で挙げる。</p>	<p>【思考・判断・表現】</p> <p>『海の命』（命シリーズ）を読んで、読書座談会を通して意見や感想の違いを明らかにしたり、互いの意見や感想のよさを認め合ったりしている。 （ワークシート・発言）</p>
	5	<p>『海の命』</p> <p>「未来へ～私の約束ノート～」の2ページ目をまとめるために、全文シートをもとに読書座談会をしよう。</p> <p>・自分の考えを伝える際には、全文シートを使って、作品のどの叙述からそう感じたのかを話し合うことで叙述をもとに広げられるようにする。 ・読書座談会を通して、『海の命』から受け取ったメッセージや「命」についての自分の考えを書く。</p>	<p>【思考・判断・表現】</p> <p>『海の命』（命シリーズ）を読んで理解したことに基づいて「命」や「これからの生き方」について自分の考えをまとめている。 （ロイロノート・発言）</p>

第二次	6	<p>「並行読書材」命シリーズ</p> <p>並行読書を読み、話題にしたいところを見付けよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・並行読書教材を読み、解き明かしたい疑問や引っ掛かりを見付ける。 ・全文シートを用意し、座談会で話す疑問の答えになるような叙述に線を引いたりメモをしたりする。 	
	7	<p>「並行読書材」命シリーズ</p> <p>ミニ座談会で、話題にしたい内容をグループで考えよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループで一人一人の解き明かしたい疑問を出し合い、読書座談会で話し合う話題を決める。 ・少し話し合っただけでは、答えがみつからないような内容を「読書座談会」で挙げるようにする。 	<p>【思考・判断・表現】</p> <p>『海の命』（命シリーズ）を読んで、読書座談会を通して意見や感想の違いを明らかにしたり、互いの意見や感想のよさを認め合ったりしている。（ワークシート・発言）</p>
	8 本時	<p>「並行読書材」命シリーズ</p> <p>「未来へ～私の約束ノート～」の3ページ目をまとめるために、全文シートをもとに読書座談会をしよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えを伝える際には、全文シートを使って、作品のどの叙述からそう感じたのかを話し合うことで叙述をもとに広げられるようにする。 ・読書座談会を通して、「命シリーズ」から受け取ったメッセージや「命」についての自分の考えを書く。 	<p>【思考・判断・表現】</p> <p>『海の命』（命シリーズ）を読んで理解したことに基づいて「命」や「これからの生き方」について自分の考えをまとめている。（ロイロノート・発言）</p>
	9	<p>「命」について考えたことをもとに「これからの生き方」について「未来へ～私の約束ノート～」の4ページ目に書こう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最後に読書座談会で話し合ったことに基づいて「命」や「これからの自分の生き方」について自分の考えを書く。 	

8 本時（全9時間中の第8時間目）

（1）本時の目標

自分の考えをはっきりさせるために、読書座談会を行い、命についての考えを「未来へ～私の約束ノート～」に書くことができる。

（2）本時の展開

時間	学習活動	指導上の留意点	評価規準（評価方法）
導入 (5分)	1 単元のゴールを確認する。	・単元のゴールを明確にするために、言語活動モデルと学習計画表を確認する。	
	2 前時までの学習を振り返る。	・全文シートやミニ座談会で整理したメモを基に、学習してきたことを確認する。 ・本時までに、疑問の答えになりそうな叙述に線を引けているかを確認し、引けてない場合は一緒に考え、自分の意見を言えるようにする。	
	3 本時のめあてを確認する。	「未来へ～私の約束ノート～」の3ページ目をまとめるために、全文シートをもとに読書座談会をしよう。	
展開 (30分)	4 グループごとに読書座談会を行う。	・全文シートの叙述を基にグループ内で話し合わせるようにする。 ・教師自身も随時、参加者として話し合いに加わり、グループの考えを深める。 ・本文の叙述に戻りながら考えられるように、自分の全文シートに線を引き、比較検討しながら座談会を行うようにする。 ・複数の叙述を結び付けている児童を認めていく。 ・命シリーズの作品と作品とを重ね合わせている児童を認めていく。	【思考・判断・表現】 『海の命』（命シリーズ）を読んで理解したことに基づいて「命」や「これからの生き方」について自分の考えをまとめている。（ロイロノート・発言） 【A規準】 読書座談会を通して、「命」について叙述をもとにしながら、自分がどう考えをまとめている。 【B規準】 読書座談会を通して、「命」について、自分がどう考えているかをまとめている。 【B基準に達しない児童への手だて】 教師が3人目のメンバーとして読書座談会に加わり、「〇〇さんだったらどう思う？」など問いかけ、「命」について一緒に考えている。
	5 本時のまとめと振り返りをする。	・読書座談会を通して、考えがはっきりしたことや「命シリーズ」から受け取ったメッセージについて自分「命」についての考えを書く。 ・対話によって、自分の考えがどう変化したのかという視点で書くようにする。	

